

75 番の歌 「ここに私があります！ 私を遣わしてください！」

エホバのために生きていきたいという気持ちを育てましょう

「私は何をしてエホバにお返ししよう。私のためにしてくださった全ての良いことに対して」。

詩編 116:12

ポイント：この記事はエホバとの絆を強め、献身してバプテスマを受けたいという気持ちを育てるのに役立ちます。

1-2. バプテスマを受ける前にどんなことをする必要がありますか。

この 5 年の間に、100 万人以上の人々がバプテスマを受けてエホバの証人になりました。その中には、テモテのように「幼い時から」聖書の真理を学んできた人もいます。（テモ二 3:14, 15 あなたは、自分が学び、納得して信じるようになった事柄から離れないようにしなさい。あなたはそれを誰から学んだかを知っており、15 幼い時から聖なる書物に親しんできました。その書物はあなたを賢くし、キリスト・イエスへの信仰による救いを得られるようにします）大人になってから、または高齢になってから学んだ人もいます。なんと 97 歳でバプテスマを受けた姉妹もいます。

2 あなたは今、親からまたは誰かほかの人から聖書を教えてもらっていますか。もしバプテスマを受けることを考えているなら、それは素晴らしい目標です。でも、バプテスマを受ける前にエホバに献身する必要があります。この記事では、①献身するとはどういうことかを考えます。そして、②献身してバプテスマを受けるのをためらうべきではない理由についても考えます。

献身するとはどういうことか

3. 聖書にはエホバに献身したどんな人たちについて書かれていますか。

3 聖書の中で献身とは、特別な目的のために取り分けられることを意味しています。イスラエル人はエホバに献身した国民でした。でも中には、特別な仕方で自分をエホバに捧げた人たちもいました。例えばアロンは、ターバンの前に「献じられたことの聖なる印」である金の板を付けていました。それはアロンがイスラエルの大祭司として特別に取り分けられていたことを示すものでした。（レビ 8:9 頭にターバンを巻き、ターバンの前面に、献じられたことの聖なる印(*聖なる冠)である輝く金の板を付けた。エホバがモーセに命じた通りである）ナジルもエホバのために自分を捧げました。「ナジル」という言葉は、「分けられた者」や「献じられた者」を意味するヘブライ語「ナージール」から来ています。ナジルは、モーセの律法に書かれている特別な規定に従って生活する必要がありました。（民 6:2-8 「イスラエル人に告げなさい。『男性でも女性でも、特別な誓約をしてエホバとの関係でナジル(c*ヘ語ナージール)として生活する場合、3 ぶどう酒などの酒を避けるべきである。ぶどう酒などの酒からできた酢を飲んでもならない。ブドウから作ったどんな飲み物も飲んではならず、生でも干した物でもブドウを食べ

てはならない。4 ナジルである間はずっと、熟していない実も皮も、ブドウのつるにできる物は一切食べてはならない。5 ナジルの誓約が続いている間はずっと、頭にかみそりを当ててはならない。エホバのために取り分けられる期間が終わるまで、髪の毛を伸ばしておくことによって聖なる人であるべきである。6 エホバのために分けられる間はずっと、死んだ人(c*ヘ語ネフェシュ)に近づいて(*の近くに行って)はならない。7 父、母、兄弟、姉妹が死んだとしても、自分を汚してはならない。神との関係でナジルであることを示す髪が頭にあるからである。8 ナジルである間はずっと、エホバにとって聖なる人である)

4. (ア) エホバに献身すると、何を一番大切にするようになりますか。 (イ) 「自分を捨て[る]」とはどういう意味ですか。 (挿絵も参照。)

4 私たちにとってエホバに献身するとは、イエス・キリストの弟子になり、生活の中でエホバの喜ぶことを第一にすることです。それにはどんなことが関係しているでしょうか。イエスはこう言いました。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て……なさい」。(マタ 16:24) それからイエスは弟子たちに言った。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て、苦しみの杭を持ち上げ、絶えず私の後に従いなさい) ここで「自分を捨て……なさい」と訳されているギリシャ語は、「自分に『いいえ』と言わなければならない」とも訳せます。それで、エホバに献身した人は、エホバに喜ばれないことは全て避ける必要があります。(コリニ 5:14, 15) キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。私たちは次のように考えているからです。1人の方が全ての人のために死にました。ということは、全ての人は死んでいたのです。15 その方が全ての人のために死んだのですから、生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです) それには性的不道徳など、「罪深い欲望から出る行い」をきっぱり退けることが含まれます。(ガラ 5:19-21) さて、罪深い欲望から出る行いは明らかです。それは、性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)、汚れ、恥知らずな行い(c*ギ語アセルゲイア)、20 偶像崇拜、心靈術(*魔術/薬物の使用)、敵意、争い、嫉妬、激怒、不和、分裂、分派、21ねたみ、酩酊、ばか騒ぎなどです。こうした事柄について私はすでに警告しましたが、あらためて警告します。こうした事柄を習慣にする人が神の王国を授けられることはできません。コリニ 6:18 性的不道徳(c*ギ語ポルネイア)から逃げ去りなさい!ほかの罪はどれも人が自分の体の外で犯すものですが、性的に不道徳な行為をする人は自分の体に対して罪を犯しているのです) こうしたおきてに従うのを窮屈に感じますか。エホバを愛していて、従うことが自分のためになると確信しているなら、そうは思わないでしょう。(詩 119:97 私はあなたの律法を愛してやまない! 一日中じっくり考える(*学ぶ)。イザ 48:17, 18 あなたを救う(d*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば! そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになります、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる) ニコラス兄弟はこう言っています。「エホバのおきては、自由を奪う刑務所の鉄格子のようなものではありません。どう猛なライオンから守ってくれる鉄格子のようです」。



エホバのおきてはあなたにとって、自由を奪う刑務所の鉄格子のようですか。

それとも、どう猛なライオンから守ってくれる鉄格子のようですか。（4節を参照。）

5. (ア) どのようにしてエホバに献身しますか。 (イ) 献身とバプテスマにはどのような違いがありますか。 (写真も参照。)

5 どのようにしてエホバに献身しますか。 エホバだけを崇拝し、エホバを生活の中で第一にすることを、祈りの中で約束することによってです。「心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして」エホバを愛し続ける、と約束するのです。（マル 12:30あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ）献身はあなたがエホバとの間で個人的に行うものです。一方、バプテスマはあなたが献身したことを周りの人たちに明らかにするものです。献身は厳肅な約束なので、それを果たすよう努力するのは大切なことです。エホバもそうすることを願っています。（伝 5:4, 5神に誓約したなら、先延ばしせずに果たせ。愚かな人は喜ばれないからだ。誓約は果たせ。5 誓約して果たさないよりは、誓約しない方がよい）



献身するとは、エホバだけを崇拝し、エホバを生活の中で第一にすることを祈りの中で約束すること。（5節を参照。）

エホバに献身するのはどうしてか

6. エホバに献身する一番の理由は何ですか。

6 私たちが献身する一番の理由はエホバへの愛です。その愛は、単なる感情ではなく、エホバやエホバの考えについての「正確な知識」を蓄えることによって育っていくものです。（コロ 1:9それで私たちは、そのことを聞いた日以来、皆さんのために絶えずこう祈っています。皆さんがあらゆる知恵と、聖なる力による理解力を得て、神の意志についての正確な知識を十分に持ち、聖書を学ぶことによって、（1）エホバが現実の存在であること、（2）聖書が聖なる力に導かれて書かれたこと、（3）エホバがご自分の望むことを行うために組織を用いていることを確信できるようになったでしょう。）

7. 献身する前にどんなことをする必要がありますか。

7 エホバに献身するためには、聖書の基本的な教えを学び、エホバの基準に合わせて生活する必要があります。そして、学んだことをできる限りほかの人に伝えるようにします。（マタ 28:19, 20）エホバへの愛が育つにつれて、エホバだけを崇拝したいと心から願うようになります。あなたもきっとそうでしょう。こうした愛があるなら、ただ聖書を教えてくれている人や親を喜ばせたいとか、周りの友達がみんなそうしているという理由で、献身しバプテスマを受けることはないでしょう。

8. 感謝の気持ちとエホバに献身したいという思いは、どのようにつながっていますか。（詩編 116:12-14）

8 エホバが自分にしてくれた全てのことを考えると、感謝の気持ちが湧いてきて、エホバに献身したいという気持ちになります。（詩編 116:12-14 私は何をしてエホバにお返ししよう。私のためにしてくださった全ての良いことに対して。13 私は救い(*偉大な救出)の杯を取り、エホバの名を呼ぶ。14 エホバへの誓約を果たす。神の民全ての前でを読む。）聖書には「良い贈り物、完全な贈り物」は全てエホバから来るとあります。（ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)）その中でも最大のものは、**イエスの贖いの犠牲**です。この贈り物がどれほど素晴らしいものか考えてみてください。贖いのおかげで、エホバとの絆や永遠に生きるという希望を持てるようになりました。（ヨハ一 4:9, 10 神は独り子を世に遣わし、その方によって私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから、神が私たちを愛してくださっていることが明らかになりました。10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う(*私たちを神と和解させる)犠牲としてご自分の子を遣わしてくださったのです。これこそが愛です、19 私たちが愛するのは、神がまず愛してくださったからです）エホバに献身するなら、エホバがこれほど大きな愛を示してくれたことや、エホバがしてくれた全ての良いことに対する感謝の気持ちを表すことができます。（申 16:17 各自が持ってくる供え物は、エホバ神が与えてくださった祝福に応じたものであるべきです。コリ二 5:15 その方が全ての人のために死んだのですから、生きている人々はもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです）「いつまでも幸せに暮らせます」の本のレッスン 46 のポイント 4（エホバの愛についてじっくり考える）や、そこに載せられている「贈り物を神に差し出しましょう」（命、食物、完璧な環境、聖書、イエスの贖いという贈り物をくださったエホバに献身して、命をお返しする。）という3分の動画は、エホバへの感謝の気持ちを深めるのに役立ちます。

準備ができていますか

9. 献身してバプテスマを受けることを焦ったりプレッシャーに感じたりする必要がないのはどうしてですか。

9 自分にはまだ早いと感じる人もいます。エホバの基準に合わせて生活するにはもっと努力しないといけないとか、信仰を強めるにはもう少し時間が必要だと思うのかもしれません。（コロ 2:6、7 皆さんは主であるキリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストと結ばれて歩み続けてください。7 教えられた通り、キリストに根を下ろし、自分をキリストの上に建て、搖るぎない信仰を持ち、感謝にあふれましょう）人によって成長のスピードはさまざまです。若い人たちもみんなが同じ年齢でバプテスマを受けられるようになるわけではありません。それで、自分がどんな点に取り組む必要があるかをよく考えるようにしましょう。人と比べるのではなく、自分にできることを行うことが大切です。（ガラ 6:4, 5 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます。5 人はそれぞれ、自分の荷(*責任)を自分で負うのです）

10. 献身する準備がまだできていないと思う場合、どんなことができますか。（「エホバの証人の親に育てられている皆さんへ」の囲みも参照。）

10 エホバに献身する準備がまだできていないと思ったとしても、その目標に向けて努力し続けてください。調整が必要な点に取り組めるように力を求めてエホバに祈りましょう。（フィリ 2:13 神はご自分の望みを実現させるために皆さんを力づけてくださいます。行動するための意欲と力の両方を与えてください）

さるのです; 3:16 いざれにしても、私たちはこれまで進歩してきたのですから、この同じ道をきちんと歩んでいきましょう) エホバは必ずあなたの祈りを聞いて助けてくださいます。 (ヨハ一 5:14 私たちは神について次の確信を持っています(*私たちは気後れせずに神に語り掛けることができます)。神は、私たちが神の意志に沿って願い求めるることは何でも聞いてくださるのです)

エホバの証人の親に育てられている皆さんへ

エホバの証人の親に育てられている若い人たちには、 jw.org の「若い人は尋ねる バプテスマを受けるのは大切?」(まずは献身とバプテスマの意味を知ることが必要)という 3 つのシリーズ記事からたくさんのこと学べます。

「ものの塔」2016年3月号の「若い皆さん バプテスマを受ける用意ができますか」(まず座って費用を計算し—ルカ 14:28)と「若い皆さん バプテスマに向けてどんなことができますか」(ご意志を行なうことをわたしは喜びとしました)。—詩 40:8)という 2 つの研究記事も役立ちます。

時間を持ってこうした記事を調べ、じっくり考えてみてください。

ためらう人がいるのはどうしてか

11. クリスチャンとして正しく歩み続けられるよう、エホバはどのように助けてくださいますか。

11 献身してバプテスマを受ける準備ができているのに、ためらう人もいます。重大な罪を犯して排斥されてしまったらどうしよう、と思うかもしれません。でも心配は要りません。「エホバに仕える人にふさわしい歩み方をし、全ての点で神に喜ばれる生き方ができるよう、必要な助けをエホバが必ず与えてくださいます。 (コロ 1:10 エホバ(*)に仕える人にふさわしい歩み方をし、全ての点で神に喜ばれますように。また、あらゆる善いことを行って実を結び、神についての正確な知識をますます得られますように) また、正しいことを行うための力も与えてくださいます。エホバはこれまで多くの人をそのようにして助けてきました。 (コリー 10:13 皆さんに受けた誘惑は、多くの人が同じように経験してきた誘惑です。神は信頼できる方で、皆さんに耐えられないほど誘惑を受けるままにはしません。出口を設けて、誘惑に耐え切れるようにしてください) 実際、会衆から排斥される人はあまりいません。クリスチャンとしてしっかり歩み続けられるようにエホバが助けてくださるのです。

12. 重大な罪を避けるためにどんなことができますか。

12 私たちはみんな完全ではないので、間違ったことをしたいという気持ちになることがあります。 (ヤコ 1:14 人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされる(*餌によるかのように捕らわれる)ことにより、試されるのです) でも、そういう時にどうするかは自分で決めることができます。結局のところ、どんな生き方をするかは自分次第です。間違ったことをしたいという気持ちを抑えることなんてできない、と言う人もいるかもしれません、そうすることは可能です。そういう気持ちが湧き上がってきたとしても、間違ったことをしないよう自分をコントロールすることができます。そのためにどんなことが助けになるでしょうか。毎日祈り、個人研究の良い習慣を守りましょう。集会に出席し、伝道で自分が信じていることを語ることも大切です。こうしたことをしっかり行

ていくなら、**献身の誓いを守り続けることができます**。そのように**努力するとき、エホバは必ず助けてくださいます**。（ガラ 5:16 次のことを勧めます。聖なる力に導かれて歩んでください。そうすれば、**罪深い欲望のままに行動することは決してありません**）

13. ヨセフにどのように倣えますか。

13 誘惑に遭った時に**どうするかを前もって決めておくなら、正しく行動しやすくなります**。聖書によると、私たちと同じように**完璧ではなかった多くの人たちがそのようにしました**。例えば、ヨセフはポテパルの妻から何度も誘惑を受けましたが、迷うことなく**きっぱりと「拒み」ました**。そして「**そのような非常に悪いことをして、神に対して罪を犯すことなど、どうしてできるでしょうか**」と言いました。（創 39:8-10 しかしヨセフは拒み、主人の妻に言った。「ご主人さまは、家の中のことを私に任せ、全く心配しておられません。全てのものを私に委ねてくださっています。9 この家に私の上に立つ人はいません。ご主人さまが私に下さらないものはありません。でもあなたは別です。奥さまだからです。そのような非常に悪いことをして、神に対して罪を犯すことなど、どうしてできるでしょうか」。10 彼女は毎日言い寄ったが、ヨセフは彼女のそばで横になることも一緒に居続けることも決してなかった）確かに**ヨセフは、自分がどう行動すべきかを前もって考えていました**。このことは**正しいことを行う助けになりました**。

14. どうすれば間違ったことをきっぱり避けられますか。

14 私たちもヨセフと同じように**誘惑に遭う前にどうすべきかを考えておく**ことができます。エホバが憎まれることを**きっぱりと避け**、**そうしたことを考えることさえしない**ようにしましょう。（詩 97:10 エホバを愛する人たち、悪を憎め。神はご自分に尽くす(*を揺るぎなく支持する/から離れない)人たちの命を守っている。その人たちを悪人の手から助け出す：119:165 豊かな平和はあなたの律法を愛する人たちのもの。そのたちはどんなものにもつまずかない(*そのたちにとって信仰を妨げるものはない)）**そうするなら、誘惑を受けても迷うことはありません**。どうすればいいかはつきり分かっているからです。

15. エホバに「熱心に仕えようと努め」ていることは、どんなことに表れますか。（ヘブライ 11:6）

15 あなたは、**これは真理だと確信**し、**エホバに心を込めて仕えていきたい**と思っているものの、**何かの理由で献身やバプテスマをためらっていますか**。もしそうなら、**ダビデに倣う**ことができます。ダビデはこう祈りました。「**神よ、私の全てを探り、私の心を知ってください。私を調べ、不安な気持ちを知ってください。私に何か良くないところがないかどうかを見て、永遠の命に導いてください**」。（←詩 139:23, 24）**このように祈るなら、献身とバプテスマに向けて真剣に努力**していることになります。エホバは、**そうした「熱心に仕えようと努め」**ている人たちに**必ず報いを**与えてくださいます。（ヘブライ 11:6 信仰がなければ、神に喜ばれることはありません。神に近く人は、神が存在し、熱心に仕えようと努める人たちに報いてくださる、ということを信じなければなりませんを読む。）

エホバとの友情を深める

16-17. エホバの証人の親に育てられている子供をエホバはどのように見ていますか。（ヨハネ 6:44）

16 イエスは、エホバによって引き寄せられた人が弟子になれる、と言いました。 (ヨハネ 6:44 私を遣わした父が引き寄せてくださらない限り、誰も私のもとに来ることはできません。私はその人を終わりの日に復活させますを読む。) これがどれほど素晴らしいことか考えてみてください。エホバは、一人一人の良いところを見てご自分のもとに引き寄せてください。そして、それぞれを「特別な所有物」として「宝」のように見ておられます。 (申 7:6 あなたはエホバ神の聖なる民だからです。エホバ神は、地上の全ての民の中からあなたを選んでご自分の民とし、特別な(*宝のような)所有物としたのです、脚注) あなたのこともそのように大切に思っているのです。

17 あなたはエホバの証人の親に育てられていますか。その場合、親がエホバに仕えているから自分もそうしているだけで、エホバが自分のことを引き寄せてくれたわけではない、と思うかもしれません。でもエホバはあなたのことを親とひとまとめに見ているわけではありません。一人一人を引き寄せておられます。さらに聖書にはこうあります。「神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます」。 (ヤコ 4:8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。代一 28:9 そして、わが子ソロモン、あなたは父の神を知り、心を尽くして喜びの(*進んとする)心で神に仕えなさい。エホバは全ての心を探り、考えの傾向を全て見極める方だ。あなたが神を探し求めるなら、神を見つけられるが、神を捨てるなら、神からいつまでも退けられる) あなたの方からエホバに近づくなら、エホバもそれに応えて近づいてくださるのであります。 (テサロニケ第二 2:13 エホバ(*)に愛されている兄弟たち、私たちは皆さんについて、いつも神に感謝せずにいられません。神が初めから、救いのために皆さんを選んでくださったからです。皆さんのが眞理に信仰を持ったために、神はご自分の聖なる力(*)によって皆さんを神聖なものとしましたと比較。)

18. 次の記事ではどんなことを学びますか。 (詩編 40:8)

18 エホバに献身しバプテスマを受けるなら、イエスに倣っていることになります。イエスは、エホバに喜ばれることは何でも進んで行いました。 (詩編 40:8 私の神、あなたの望まれることを喜んで行います(*望まれることを行うのは私の願いです)。あなたの律法は私の奥深くにありますを読む。ヘブ 10:7 私は言いました。『ご覧ください、私は來ました。卷物に私について書いてある通り、神よ、あなたの望まれることを行うためにです』) 次の記事では、バプテスマの後もエホバに仕えていく上で、どんなことが助けになるかを学びます。

どのように答えますか

1. エホバに献身するとはどういうことですか。

- ・S03-04 聖書の中で献身とは特別な目的のために取り分けられることを意味し、私たちにとってエホバに献身するとは、イエス・キリストの弟子になり、生活の中でエホバの喜ぶことを第一にすること。性的不道徳などエホバに喜ばれないことは全て避ける必要がある。エホバを愛していて、従うことが自分のためになると確信しているなら、エホバのおきては、自由を奪う刑務所の鉄格子のようなものではなく、どう猛なライオンから守ってくれる鉄格子のようで、窮屈に感じることはない。
- ・S05 エホバだけを崇拝し、エホバを生活の中で第一にし、エホバを愛し続けることを誓りの中で約束することによって、エホバに献身する。

2. 感謝の気持ちと献身にはどんな関係がありますか。

・S08 エホバが自分してくれた全てのことを考えると、感謝の気持ちが湧いてきて、エホバに献身したいという気持ちになる。全てエホバから来る良い贈り物、完全な贈り物の中でも最大のものは、イエスの贖いの犠牲で、この贖いのおかげで、エホバとの絆や永遠に生きるという希望を持てるようになった。エホバに献身するなら、エホバがしてくれた全ての良いことに対する感謝の気持ちを表すことができる。

3. どうすれば重大な罪を避けられますか。

・S12 みんな完全ではないので、間違ったことをしたいという気持ちになることがあるとしても、間違ったことをしないよう自分をコントロールすることができる。毎日祈り、個人研究の良い習慣を守り、集会に出席し、伝道で自分が信じていることを語ることをしっかりと行っていくなら、献身の誓いを守り続けることができる。エホバは必ず助けてくださる。

・S13-14 ヨセフに倣い誘惑に遭った時にどうするかを前もって考えて決めておくなら、正しく行動しやすくなり、神に対して罪を犯すことを避けられる。エホバが憎まれることをきっぱりと避け、こうしたことを考えることさえしないようにする。

38 番の歌 神はあなたを強い人にしてくださる

△ (詩 116:12) 私は何をしてエホバにお返ししよう。私のためにしてくださった全ての良いことに対して。

△ (テモ二 3:14, 15) あなたは、自分が学び、納得して信じるようになった事柄から離れないようにしなさい。あなたはそれを誰から学んだかを知っており、15 幼い時から聖なる書物に親しんできました。その書物はあなたを賢くし、キリスト・イエスへの信仰による救いを得られるようにします。

△ (レビ 8:9) 頭にターバンを巻き、ターバンの前面に、献じられたことの聖なる印*である輝く金の板を付けた。エホバがモーセに命じた通りである。

または、「聖なる冠」。

△ (民 6:2-8) 「イスラエル人に告げなさい。『男性でも女性でも、特別な誓約をしてエホバとの関係でナジル*として生活する場合、3 ぶどう酒などの酒を避けるべきである。ぶどう酒などの酒からできた酢を飲んでもならない。ブドウから作ったどんな飲み物も飲んではならず、生でも干した物でもブドウを食べてはならない。4 ナジルである間はずっと、熟していない実も皮も、ブ